

宮古市「復興に向けた計画づくりに関するアンケート調査」結果 【中心市街地版】

1. 調査概要及び回収状況

(1) 調査概要

調査方法：郵送による配布、回収
 調査期間：【発送】平成23年7月8日 【回答の返送締切】平成23年7月26日
 対象者：被災地域及びその周辺の各世帯
 配布数：【市全体】6,644世帯 【中心市街地】1,165世帯

(2) 回収状況(平成23年8月16日時点)

回収数：【市全体】3,200世帯 【中心市街地】501世帯
 回収率：【市全体】48.2% 【中心市街地】43.0%

2. 集計結果(中心市街地分)

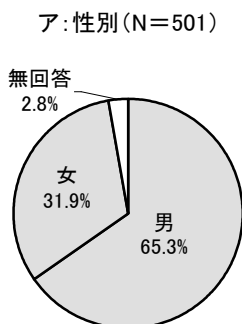
(1) 回答者の属性

問1：世帯の代表の方についてお聞きします。
 それぞれ当てはまる番号を1つ選び○を付けてください。

- 世帯の代表の方にお答えいただいたことにより、「男性」、「70歳代以上」の回答者が多くなっています。また、家族構成は単身世帯、一世代世帯、二世帯世帯がそれぞれ25%以上を占めています。

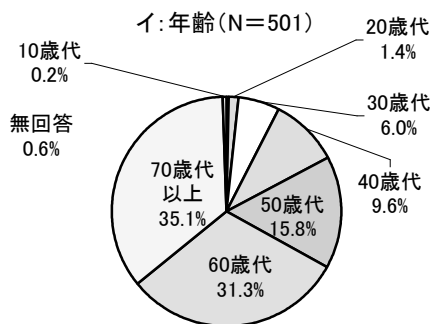
ア:性別

	全体		中心市街地	
	回答数	割合	回答数	割合
男	2,172	67.9%	327	65.3%
女	814	25.4%	160	31.9%
無回答	214	6.7%	14	2.8%
計	3,200	100.0%	501	100.0%



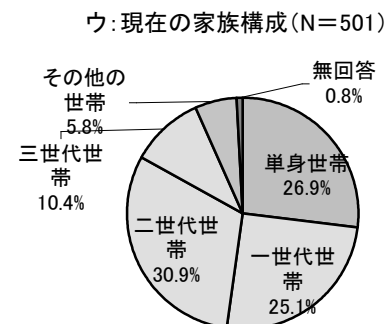
イ:年齢

	全体		中心市街地	
	回答数	割合	回答数	割合
10歳代	1	0.0%	1	0.2%
20歳代	51	1.6%	7	1.4%
30歳代	218	6.8%	30	6.0%
40歳代	393	12.3%	48	9.6%
50歳代	572	17.9%	79	15.8%
60歳代	875	27.3%	157	31.3%
70歳代以上	1,050	32.8%	176	35.1%
無回答	40	1.3%	3	0.6%
計	3,200	100.0%	501	100.0%



ウ:現在の家族構成

	全体		中心市街地	
	回答数	割合	回答数	割合
単身世帯	592	18.5%	135	26.9%
一世代世帯	786	24.6%	126	25.1%
二世帯世帯	1,142	35.7%	155	30.9%
三世帯世帯	425	13.3%	52	10.4%
その他の世帯	194	6.1%	29	5.8%
無回答	61	1.9%	4	0.8%
計	3,200	100.0%	501	100.0%



- 現在のお住まいが震災前とは別の方においては、「民間賃貸住宅」の割合が最も高く、次いで「仮設住宅」が多くなっています。

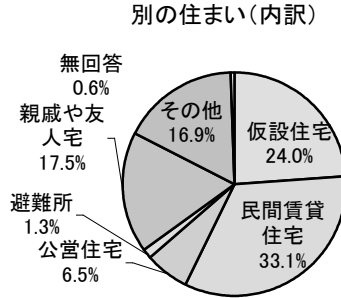
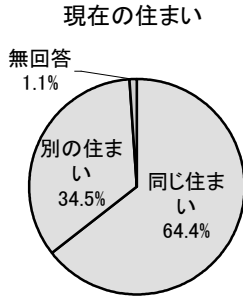
エ:現在の住まい

	全体		中心市街地	
	回答数	割合	回答数	割合
同じ住まい	993	36.8%	288	64.4%
別の住まい	1,672	61.9%	154	34.5%
無回答	35	1.3%	5	1.1%
計	2,700	100.0%	447	100.0%

※[問2エ]の「被害なし」を除いた
2,700人(中心市街地447人)を対象

	全体		中心市街地	
	回答数	割合	回答数	割合
仮設住宅	793	47.4%	37	24.0%
民間賃貸住宅	368	22.0%	51	33.1%
公営住宅	78	4.7%	10	6.5%
避難所	33	2.0%	2	1.3%
親戚や友人宅	177	10.6%	27	17.5%
その他	214	12.8%	26	16.9%
無回答	9	0.5%	1	0.6%
計	1,672	100.0%	154	100.0%

※[エ]で「別の住まい」と回答した1,672人(中心市街地154人)を対象



- 震災前に仕事に就いていた方の職業は約30%が「販売・サービス業」で、職場については約60%が「宮古」となっています。
- 震災前に仕事に就いていた方のうち、震災後に何らかの変化(休業、廃業、退職、失業)があったと回答した方は、40%以上となっています。

オ:震災前の仕事

	全体		中心市街地	
	回答数	割合	回答数	割合
農林業	28	0.9%	1	0.2%
漁業	371	11.6%	8	1.6%
製造業・建設業	447	14.0%	54	10.8%
販売・サービス業	618	19.3%	167	33.3%
公務員・団体職員	280	8.8%	38	7.6%
主婦(夫)	137	4.3%	20	4.0%
学生	1	0.0%	0	0.0%
無職	985	30.8%	147	29.3%
その他	263	8.2%	57	11.4%
無回答	70	2.2%	9	1.8%
計	3,200	100.0%	501	100.0%

カ:震災前の職場の場所

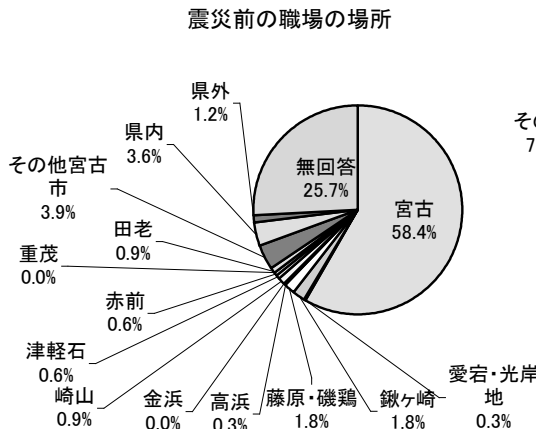
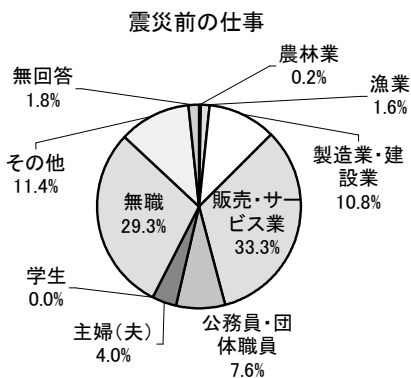
	全体		中心市街地	
	回答数	割合	回答数	割合
宮古	418	20.1%	195	58.4%
愛宕・光岸地	51	2.5%	1	0.3%
鎌ヶ崎	144	6.9%	6	1.8%
藤原・磯鶏	177	8.5%	6	1.8%
高浜	34	1.6%	1	0.3%
金浜	26	1.3%	0	0.0%
崎山	37	1.8%	3	0.9%
津軽石	78	3.8%	2	0.6%
赤前	66	3.2%	2	0.6%
重茂	59	2.8%	0	0.0%
田老	233	11.2%	3	0.9%
その他宮古市	141	6.8%	13	3.9%
県内	85	4.1%	12	3.6%
県外	43	2.1%	4	1.2%
無回答	486	23.4%	86	25.7%
計	2,078	100.0%	334	100.0%

※[オ]の主婦(夫)、無職を除いた
2,078人(中心市街地334人)を対象

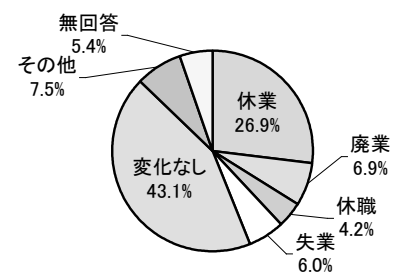
キ:震災後の仕事の変化

	全体		中心市街地	
	回答数	割合	回答数	割合
休業	396	19.1%	90	26.9%
廃業	138	6.6%	23	6.9%
退職	99	4.8%	14	4.2%
失業	182	8.8%	20	6.0%
変化なし	895	43.1%	144	43.1%
その他	182	8.8%	25	7.5%
無回答	186	9.0%	18	5.4%
計	2,078	100.0%	334	100.0%

※[オ]の主婦(夫)、無職を除いた
2,078人(中心市街地334人)を対象



震災後の仕事の変化



(2) 震災前の住まい、今後の住まいについて

問2：震災前のお住まいについてお聞きします。

それぞれ当てはまる番号を1つ選び○を付けてください。

問3：今後の住まいをどのようにお考えですか。

- 震災前の住まいは、約70%が「持ち家」となっています。
- 住まいの被害については、「流出」、「全壊」、「大規模半壊」の被害を受けている方が、回答者の60%以上を占めています。
- 今後の住みたい場所については、「同じ場所」に住みたいと考えている方が60%以上を占めています。(4ページ)
- 今後の住まいとしては、「既に補修」、「補修予定」の順に多くなっています。(4ページ)
- 住みたい場所の理由は、「生活するのに便利」「住み慣れた地域を離れたくない」が多くなっています。(4ページ)
- 住みたい場所と考えている住まいをクロス集計すると、「同じ場所」で「既に補修」が最も多く、約30%となっています。(4ページ)

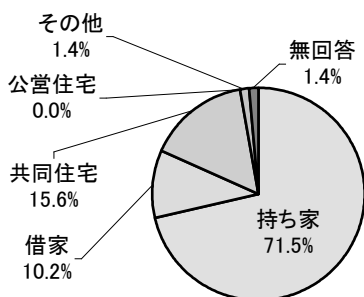
ウ: 震災前の住まいの種類

	全体		中心市街地	
	回答数	割合	回答数	割合
持ち家	2,639	82.5%	358	71.5%
借家	225	7.0%	51	10.2%
共同住宅	218	6.8%	78	15.6%
公営住宅	26	0.8%	0	0.0%
その他	41	1.3%	7	1.4%
無回答	51	1.6%	7	1.4%
計	3,200	100.0%	501	100.0%

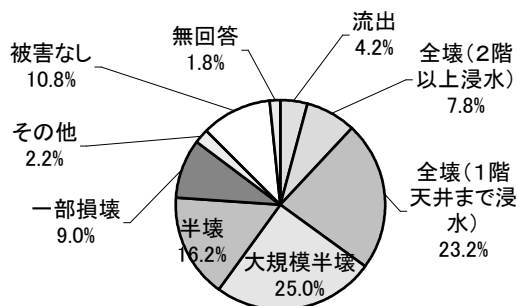
エ: 住まいの被害

	全体		中心市街地	
	回答数	割合	回答数	割合
流出	853	26.7%	21	4.2%
全壊(2階以上浸水)	307	9.6%	39	7.8%
全壊(1階天井まで浸水)	524	16.4%	116	23.2%
大規模半壊	408	12.8%	125	25.0%
半壊	305	9.5%	81	16.2%
一部損壊	147	4.6%	45	9.0%
その他	83	2.6%	11	2.2%
被害なし	500	15.6%	54	10.8%
無回答	73	2.3%	9	1.8%
計	3,200	100.0%	501	100.0%

震災前の住まいの種類



住まいの被害



ア-1:住みたい場所

	全体		中心市街地	
	回答数	割合	回答数	割合
同じ場所	990	36.7%	281	62.9%
近くの高台など	753	27.9%	50	11.2%
市内	639	23.7%	75	16.8%
市外	99	3.7%	10	2.2%
その他	72	2.7%	12	2.7%
無回答	147	5.4%	19	4.3%
計	2,700	100.0%	447	100.0%

※[問2エ]の「被害なし」を除いた
2,700人(中心市街地447人)を対象

ア-2:考えている住まい

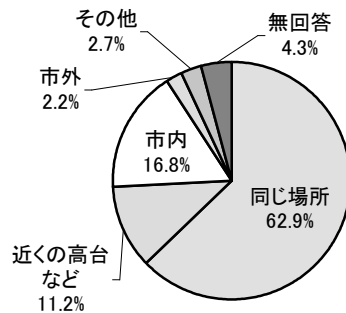
	全体		中心市街地	
	回答数	割合	回答数	割合
既に補修	488	18.1%	154	34.5%
補修予定	269	10.0%	79	17.7%
新築	811	30.0%	49	11.0%
民間賃貸	89	3.3%	23	5.1%
公営住宅	176	6.5%	21	4.7%
未定	486	18.0%	53	11.9%
その他	82	3.0%	14	3.1%
無回答	299	11.1%	54	12.1%
計	2,700	100.0%	447	100.0%

※[問2エ]の「被害なし」を除いた
2,700人(中心市街地447人)を対象

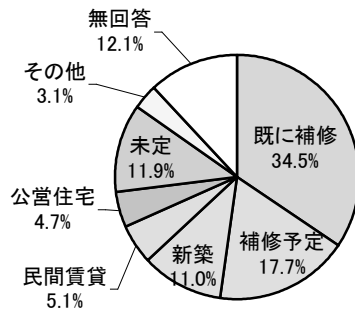
イ:理由(複数回答)

	全体		中心市街地	
	回答数	割合	回答数	割合
離れたくない	1,441	53.4%	245	54.8%
仕事場が近い	442	16.4%	82	18.3%
生活に便利	871	32.3%	281	62.9%
津波被害を受けたくない	1,037	38.4%	89	19.9%
近所づきあい	640	23.7%	119	26.6%
子どもの教育環境	229	8.5%	21	4.7%
早く住宅確保	812	30.1%	82	18.3%
費用がかかる	797	29.5%	126	28.2%
その他	121	4.5%	24	5.4%
無回答	143	5.3%	13	2.9%
計	6,533		1,082	

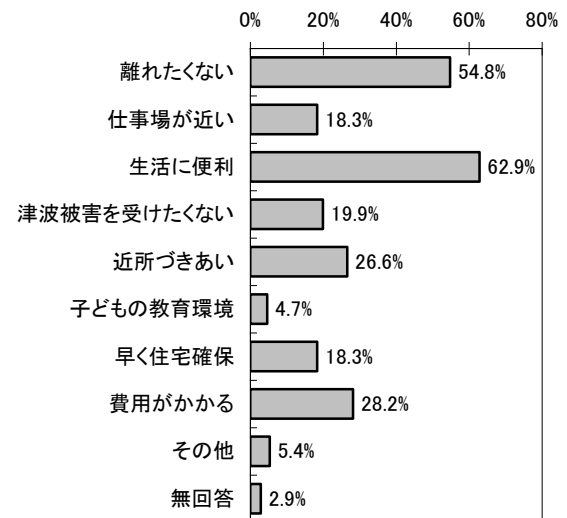
住みたい場所



考えている住まい



理由(複数回答)



住みたい場所×考えている住まいのクロス

1.中心市街地	考えている住まい								計
	既に補修	補修予定	新築	民間賃貸	公営住宅	未定	その他	無回答	
住みたい									
同じ場所	131 29.3%	72 16.1%	17 3.8%	1 0.2%	4 0.9%	18 4.0%	6 1.3%	32 7.2%	281 62.9%
近くの高台など	7 1.6%	4 0.9%	12 2.7%	4 0.9%	7 1.6%	11 2.5%	1 0.2%	4 0.9%	50 11.2%
市内	9 2.0%	2 0.4%	15 3.4%	14 3.1%	10 2.2%	17 3.8%	4 0.9%	4 0.9%	75 16.8%
市外	1 0.2%	0 0.0%	4 0.9%	1 0.2%	0 0.0%	1 0.2%	0 0.0%	3 0.7%	10 2.2%
その他	2 0.4%	1 0.0%	1 0.2%	3 0.7%	0 0.0%	4 0.9%	1 0.2%	1 0.2%	12 2.7%
無回答	4 0.9%	1 0.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.4%	2 0.4%	10 2.2%	19 4.3%
計	154 34.5%	79 17.7%	49 11.0%	23 5.1%	21 4.7%	53 11.9%	14 3.1%	54 12.1%	447 100.0%

(3) 今後の不安、備えについて

問4：これからの暮らしにおいて、不安なことについてお聞かせください。

問5：あなた自身で、今回の震災をきっかけに今後どのような備えをしたいと思いますか。

- 今後の不安としては、「余震や二次災害が不安」が最も多く、次いで「震災前の収入を得られるかなど生活の自立」、「医療・介護施設利用が不便」となっています。
- 今後の備えとしては、「非常時持出袋等の準備」、「家族で避難場所、避難ルートの話し合い」が多くなっています。

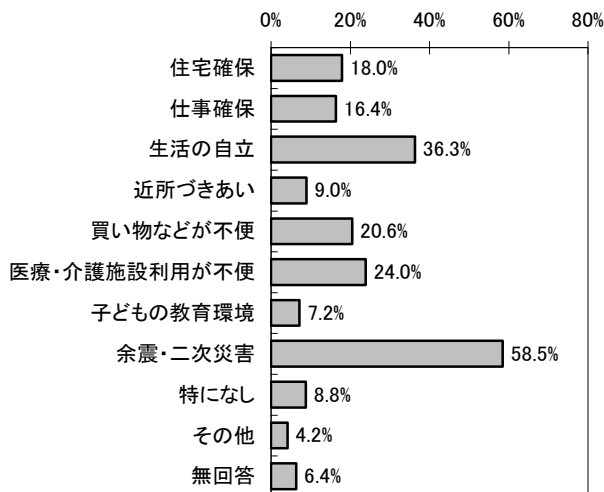
問4:これからの不安(複数回答)

	全体		中心市街地	
	回答数	割合	回答数	割合
住宅確保	1,208	37.8%	90	18.0%
仕事確保	551	17.2%	82	16.4%
生活の自立	947	29.6%	182	36.3%
近所づきあい	526	16.4%	45	9.0%
買い物などが不便	806	25.2%	103	20.6%
医療・介護施設利用が不便	817	25.5%	120	24.0%
子どもの教育環境	310	9.7%	36	7.2%
余震・二次災害	1,705	53.3%	293	58.5%
特になし	154	4.8%	44	8.8%
その他	104	3.3%	21	4.2%
無回答	173	5.4%	32	6.4%
計	7,301		1,048	

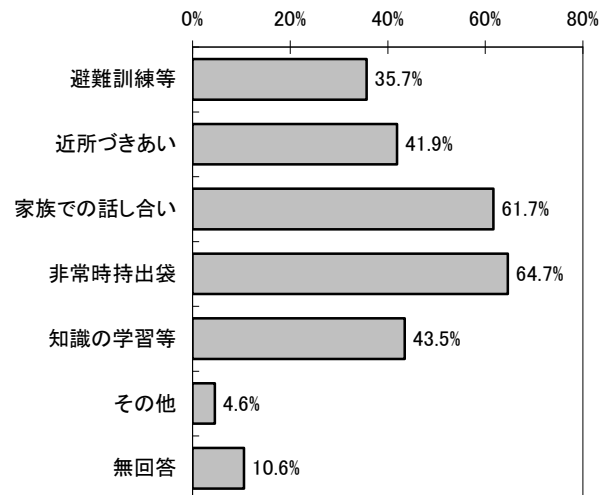
問5:今後の備え(複数回答)

	全体		中心市街地	
	回答数	割合	回答数	割合
避難訓練等	1,298	40.6%	179	35.7%
近所づきあい	1,406	43.9%	210	41.9%
家族での話し合い	2,043	63.8%	309	61.7%
非常時持出袋	1,970	61.6%	324	64.7%
知識の学習等	1,502	46.9%	218	43.5%
その他	128	4.0%	23	4.6%
無回答	333	10.4%	53	10.6%
計	8,680		1,316	

これからの不安(複数回答)



今後の備え(複数回答)



(4) 復興に向けた今後の施策について

問6：現在、宮古市では復興に向けた計画づくりに向け、次の3つの分野で施策の検討を進めています。「すまいと暮らしの再建」「産業・経済復興」「安全な地域づくり」それぞれの分野について、大切であると思うことは何ですか。特に、当てはまるもの3つまでの番号を記入してください。また、施策に対するお考えや提案などがありましたらお書きください。

- 「すまいと暮らしの再建」に関しては、回答者の半数以上が「経済的な支援など生活再建に向けた取り組み」を選択して最も多く、次いで「住宅再建への支援」や「雇用の場の確

保」、「医療体制の確保」が多くなっています。

- 「産業・経済復興」に関しては、「(施設の復旧、生産者支援、魚市場整備等の) 漁業振興に向けた取り組み」と「商業・サービス業振興」が高い割合となっています。
- 「安全な地域づくり」に関しては、「(道路や公共交通の再整備など災害に強い) 交通網の形成に向けた取り組み」と「防潮堤や湾口防波堤等のハード整備に向けた取り組み」が多くなっており、ハード整備の取り組みが求められています。

ア:すまいと暮らしの再建(複数回答)

	全体		中心市街地	
	回答数	割合	回答数	割合
経済的な支援等	1,706	53.3%	278	55.5%
住宅再建支援	1,717	53.7%	207	41.3%
健康の維持	443	13.8%	96	19.2%
医療体制の確保	1,067	33.3%	181	36.1%
児童・生徒の心のケア	239	7.5%	45	9.0%
学校教育環境の整備	370	11.6%	54	10.8%
生涯学習等の環境整備	137	4.3%	24	4.8%
雇用の場の確保	1,139	35.6%	194	38.7%
地域コミュニティ	421	13.2%	56	11.2%
無回答	433	13.5%	65	13.0%
計	7,672		1,200	

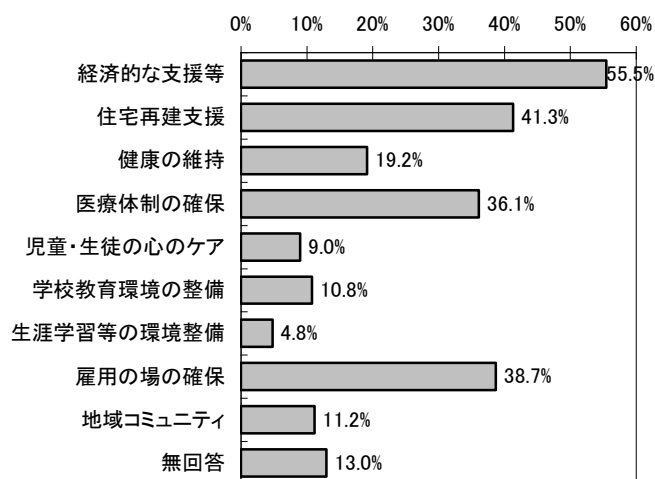
イ:産業・経済復興(複数回答)

	全体		中心市街地	
	回答数	割合	回答数	割合
農林業振興	967	30.2%	135	26.9%
漁業振興	1,522	47.6%	206	41.1%
製造業振興	815	25.5%	103	20.6%
商業・サービス業振興	881	27.5%	197	39.3%
観光振興	467	14.6%	108	21.6%
港湾振興	489	15.3%	55	11.0%
産業創出	689	21.5%	108	21.6%
事業創出	438	13.7%	70	14.0%
無回答	746	23.3%	123	24.6%
計	7,014		1,105	

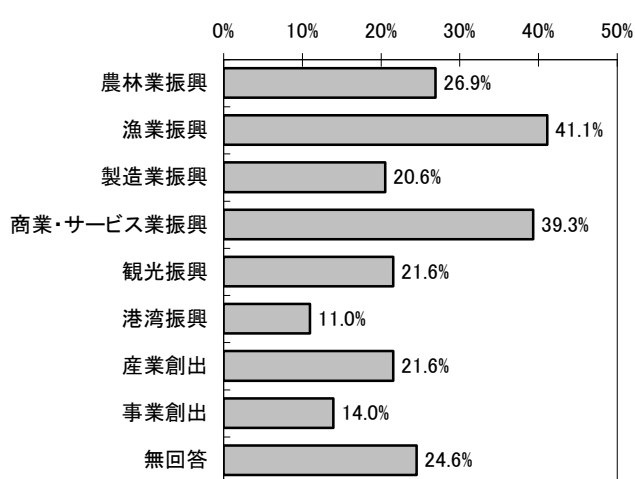
ウ:安全な地域づくり(複数回答)

	全体		中心市街地	
	回答数	割合	回答数	割合
防波堤等	1,838	57.4%	259	51.7%
交通網整備	1,717	53.7%	269	53.7%
土木施設復旧	1,361	42.5%	192	38.3%
地域防災力	444	13.9%	80	16.0%
情報伝達・避難計画	872	27.3%	159	31.7%
災害記憶継承	277	8.7%	49	9.8%
自然エネルギー	545	17.0%	92	18.4%
無回答	515	16.1%	89	17.8%
計	7,569		1,189	

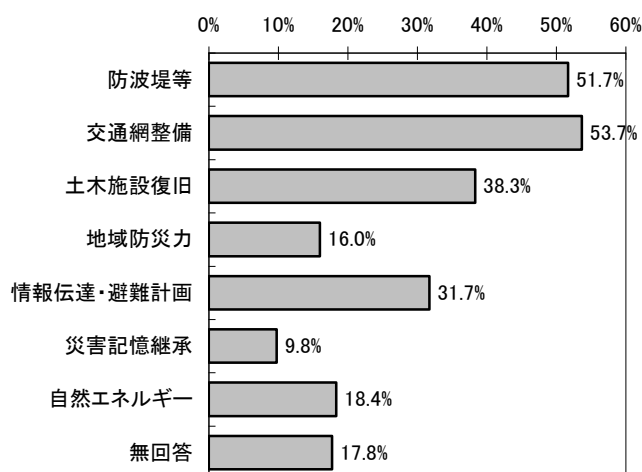
すまいと暮らしの再建(複数回答)



産業・経済復興(複数回答)



安全な地域づくり(複数回答)



■ 自由意見（原文要約）

- ・ すまいと暮らしの再建に関して、「住宅の不足」、「住宅確保のための費用」などについての意見があります。
- ・ 産業・経済復興に関して、「漁業復旧」、「商店街の復興」などについての意見があります。
- ・ 安全な地域づくりに関して、「市の中心機能のあり方」、「防災施設や避難所のありかた」などについての意見があります。
- ・ その他として、「市の積極的な復興の推進」などについての意見があります。

すまいと暮らしの再建について	
1	年金生活であるため、一戸建ての購入がむずかしい。賃貸住宅に入居したとしても負担が大きい。
2	床上浸水で現在自宅を修理して住んでいるが、この場所に住み続けて良いのか、また津波の被害にあうのではないかと心配。
3	住まいに関しては、何も考えられない。仮設入居は2年間という事であるが、あまりにも早過ぎる。
4	県営住宅及び雇用促進住宅等が老朽化しているので、新しく建て直してはどうか。
5	高台の大きな町づくりを進め、モデルとなるような市をつくってほしい。
6	被災者の人たちばかりでなく、この震災で仕事や働く職場が無くなった人にも目を向けてほしい。
7	校庭に仮設が建つのは仕方がないが、子どもの運動会等に制限があるのは気の毒。
8	人口の流出を防ぐため、医療・教育環境の整備は欠かせない。
9	中高年にとっては再就職の難しさを感じている。
産業・経済復興について	
1	企業が早急に復興しないと人口減が進み、年寄りだけになり、宮古市が衰退してしまう。
2	人口流出による宮古市の行く末が心配。水産関係の個人や小企業の再建、次世代につながる基盤づくりが必要。
3	漁業は加工も含め、一番早く現金収入になり、雇用の促進にもつながる。
4	高齢者には足で買物に行ける商店が必要。商店が廃業にならず営業が出来るような支援を。
5	住宅地と商業地域の区別が必要。住宅地の飲食店は夜間の営業を規制すべき。
6	事業所や個人商店には、あまり支援がないので、少しでも支援してほしい。
7	築地、鉾ヶ崎、出崎埠頭の公園化を図り、観光客に安心して来てもらえる環境の整備が必要。
8	海、港、観光の三大資源を有している宮古。この三点を早急に立ち上げることが復興の早道。
安全な地域づくりについて	
1	市内に第2防潮堤的なものを考えてはどうか。
2	市役所、病院、学校などを高台に移し、津波に対して安全な町を作った方が良い。
3	災害(津波)から市民を守る強い意志を示すには、建築規制と土地所有者などへの補償が必要。
4	市役所を中心地に移して、歩いて用事を済ませられる街づくりをしたら良い。
5	避難所のあり方を総点検して、今後の災害に対応してほしい。
6	小学校が災害発生避難所として重要な役割を受け持つため、施設の充実を再考してほしい。
7	避難タワーを作してほしい。再開発するときは、5階建て以上のビルを作り、避難拠点としたい。
8	震災で被害の検証が一番大事と思う。どこにいても近くの高いところに避難する心がけが大事。
9	暗い街並を見ると悲しい気持ちになる。街中は、明るくしてほしい。
10	町内で解体が多くなり、その人達が町内に帰ってこない。コミュニケーションがなくなる。
その他	
1	宮古は海・山・里の自然に恵まれているが、何より人に恵まれている。「人」がこの地に産業を興し根付かせ繁栄を支えてきた。人を育て育み続けていけば、この地は永遠に栄えるであろうと考える。
2	あまりにも政府の対応が遅すぎる。支援金見舞金の配布を早くしてほしい。
3	国や県と関係なく、宮古市独自の策を積極的に進めてほしい。
4	3、5年後の宮古がどうなっているか、プランを示してほしい。
5	今まで思い切った出来なかった市街地の整備を復興事業に合せて実行してほしい。
6	買い物や小さな子供がいる家庭では車がないと大変なので、車を購入する際にも支援してほしい。

MEMO

A large rectangular area with rounded corners, containing numerous horizontal dashed lines for writing.